

授業科目名	海外語学研修 B	担当教員	傳 建良 小畑 克典
必修の区分	選択		
単位数	2 単位		
授業の方法	講義		
開講年次	1・2・3 年 第 2 クォーター		
講義内容	受講者が各々の海外提携校による英語学習コースの中で、実践的に英語を使う機会を得てコミュニケーション力の涵養をめざすと同時に、現地の文化や社会のしくみを理解することを目的とする。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外生活に必要な英語に触れ、使うことができる ・ 米国の文化に興味を持ち、生活体験の中でその理解を深めることができる 		
授業計画	<p>本研修は、3週間の短期語学プログラムである。 研修先は以下の大学が予定されている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ University of Washington (シアトル, ワシントン州, アメリカ) ・ 大学の語学コースでは、言語と文化の両面を学ぶ。語彙やイディオムの習得を含め、英語の4技能をバランスよく習得するほか、現地の人々との実際の触れ合いの中で、英語文化圏の人々の文化や社会生活を学ぶ。 ・ 研修前には、海外渡航や現地での生活についてのガイダンスを受けること、また研修後には、研修の成果をまとめた公開プレゼンテーションの実施が求められる 		
事前・事後学習	派遣前ガイダンスで指示する		
テキスト	語学コースの授業の中で指示を受ける		
参考文献			
成績評価の基準	<ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣前ガイダンス等での事前準備 (10%) 現地語学コース授業への参加度・課題達成度 (60%) 派遣後プレゼンテーション (30%) ・ 海外語学研修の評価は、合格又は不合格で表す。 		
履修上の注意 履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修前ガイダンスから、研修後プレゼンテーションまでをやり抜く強い意欲と、海外で共同生活を送るための協調性があること 		
実践的教育	該当しない。		
備考欄	<ol style="list-style-type: none"> ① 国際交流センターが定める書類の提出、海外渡航安全研修の受講、および指定保険への加入などが必須である。 ② 基金補助制度を利用する受講者には、以下を課す。 		

	<p>事前・事後学習： 指定 eラーニングコースの受講及び研修後の語学資格試験の受験</p> <p>研修後： 原則として公開プレゼンテーションへの参加・発表を義務付ける。</p>
--	---